

多数アンカー式補強土壁工法の技術講習会を実施！

【国土交通省 岩手河川国道事務所】

平成 25 年 7 月 11 日に、国土交通省岩手河川国道事務所において、所内のスキルアップ講習会の一環として、多数アンカー式補強土壁協会をお招き頂き、工法の技術講習を実施致しました。

多数アンカー式補強土壁工法は、昭和 48 年に「盛土安定増大工法」として旧建設省にて考案され、昭和 58 年には旧建設省山口工事事務所の道路改良工事にて初めて採用され、平成 6 年に「多数アンカー式補強土壁の設計・施工マニュアル」が土木研究センターから発刊され、現在では「同第 3 版」に至っております。

今回の技術講習会では、多数アンカー式補強土壁工法の概要および特徴を中心に、特に盛土材の適用範囲の広さや施工の優位性（補強材の長さや壁面調整が可能）について詳しく説明させて頂きました。

昨年には「道路土工指針—擁壁工指針—」（日本道路協会）も改定され、多数アンカー式補強土壁工法は同指針に準拠することも可能であるため、今後、更なる東北エリアでの採用に期待したい。

以上



本日の内容	
第1部	多数アンカーの特長
□	工法の概要
□	工法の特長
□	施工事例
第2部	耐震性・維持管理と擁壁工指针对応
□	地震被災調査報告
□	耐震性能の検証
□	維持管理・補修方法
□	擁壁工指针对応



写真 講習会開催状況